

はいらいん 若林

わかばやし

若林区まちづくり協議会 会報

2026.3.1 Vol.29

会報の愛称「はいらいん若林」とは
 仙台弁の「入らいん（お入りください）」に英語のhigh（ハイ・高い）とline（ライン・路線、進路などの意）とをかさねあわせた造語です。温かさにより高いレベルをめざそうという気持ちが込められています。

若林区探訪 15

何代にもわたる地道な土づくりで 仙台の野菜供給を支えてきた

若林区今泉の歴史は、縄文時代に始まります。今泉遺跡では、縄文後期の土器が出土し、弥生時代中期の墓なども発掘されています。古墳時代から平安時代のものでは、竪穴住居など継続的な居住跡が確認され、南北朝時代（14世紀頃）には、小泉城が平城形式で築城されました。しかし、江戸時代初期に廃城となり、現在、遺構は地表から消失し、宅地や八坂神社の敷地（地図⑤付近）に なっています。規模として南北約200メートルと推定されます。

町時代に築かれたとされる平城形式の屋敷、日辺館跡（現在の徳照寺周辺）があります。日当たりが良く、年中路地栽培が可能で、何代も続く農家が数多く、藩政時代には、伊達家にその年の最初に採れた作物を納めていました。

震災後間もなく、ニッペリア（仙台市若林日辺グラウンド）には、応急仮設住宅が建設され、被災した方々の生活支援の場となっていました。ピーク時には約180世帯が入居していましたが、2017年3月に撤去工事が完了し、現在は元の運動場として活用されています。



1 木蔵(きつつ)のある日辺の農家 2 餓死者のための供養塔がある「徳照寺」



3 菜の花畑から「今泉工場」を望む



4 二十六番札所 [両全院観音堂] 5 二十八番札所 [円浄寺観音堂] 6 二十九番札所 [祐善寺観音堂]



7 三十番札所 [高福院観音堂] 8 武器を納めた「梅塚」 9 眼病を治す [三日月不動尊]



熟成させた味噌を量り売り

「味噌は癌予防にもなるので、毎日味噌汁を飲んでほしい」と、佐藤味噌醤油店十四代目の佐藤光政さん。創業は、慶長8年（1603年）で、政宗公が居城を移すたびに「伊達御供」として、味噌の製造を手掛けてきました。

（株）佐藤味噌醤油店 荒町、ヤマシゲ 佐藤 光政さん



150年使われている味噌樽



鑑評会などでの受賞歴も多数

町ぐるみで政宗公に従ってきた町は、「御譜代町」と呼ばれ、荒町は麹の専売特権を与えられていました。当時麹屋は50軒ほどありましたが、それぞれの店に地域が割り当てられ、佐藤家の担当は六郷・七郷で、他地域の方が来られた時は、その担当のお店を紹介したとか。

かつてからは、麹の売り上げが激減。そこで、佐藤家でも味噌や醤油を醸造するようになったそうです。その後、麹屋の数は減り続け、今では佐藤家だけになってしまいました。



KEYAKI COFFEE本店で こだわりの一杯を堪能



天高く馬肥ゆる秋、なないろの里の「KEYAKI」COFFEE本店さんへおじゃましました。店内は日差しが心地よく、木のぬくもりが感じられる穏やかな空間です。早速メニューを拝見すると、金木犀ブレンドの文字。こだわりのコーヒーはもちろんです。季節に合わせた限定メニューも登場するそうです。そして、ビジュアルも気になるエスプレッソトピック。どんなお味か、

量り売りの注文を受けて店頭の味噌樽の蓋を開けた途端、パツと広がる香り。しっかりと熟成した味噌ならではのかわしです。11月から3月の寒冷期だけに販売される「あまさけ」も、麹屋ならではのやさしい甘さ。これらは、麹の旨味を最大限に引き出す佐藤さんの経験と技の賜物と言えるでしょう。

職人さん技



寒冷期限定販売の「あまさけ」

まちで 見つけた! にこらかくら

「にこらかくら」とは!? 宮城の方言で「にこにこする」の意。思わず「にっこり」してしまう若林区のスポットをご紹介します!

最後は沖野7丁目にある「洋菓子店ルピナス」。外からでも見えるたくさんのお菓子につられ、つい寄り道をしたいくなります。気さくでお話好きの店主が迎えてくれる、どこか懐かしい店内には、オリジナルの商品も多く、近所の農家さんの玄米を粉にして使用した焼き菓子、子どもが食べることを考えて洋酒を使わないケーキなど、こだわりの光ります。地域に根付きながらも遠方からわざわざ来店するファンも多い名店です。

ルピナス自慢のケーキと 気さくな店主がお出迎え!



人気商品は売り切れ必至! 手づくりパン ももいまる



実際に足を運んでみてはいかがでしょうか。店内にはコーヒーの試飲もあり、お気に入りが見つかりそうです。続いては連坊を散策。寺院なども多い静かな住宅地に、かわいい看板が見えてきます。「手づくりパンももいまる」はご主人が一人で切り盛りするパン屋さん。昔は学生のお客さんが多かったそうですが、地下鉄ができてから客層も変化しているようです。約30種類のパンが午前中に売り切れてしまふ人気ぶりは、昔から変わらず地元で愛されている証拠です。

若林区まちづくり協議会 事務局
 若林区まちづくり推進課内
 〒984-8601 若林区保守院前丁3-1
 TEL.282-1111

会報編集メンバー
 勝又 久雄 菅原 まゆみ
 西條 芳郎 高山 顕治
 齋藤 初実 林 克恵
 志子田 恵恵子 米倉 正子

編集後記
 編集に関わってもう何年になりますか、一番の古参になってしまいました。これまで、編集の皆様と活動してきた中で、2回目の編集後記になります。後期高齢者が編集後記を書くことになってしまいましたが、新しい編集メンバーの参加で、よりフレッシュな紙面になることを願っています。今回、取材にご協力くださった方々に御礼申し上げます。(西條)

人と人、人とモノが 出会うステキな場所



若林区には、手づくり市や地産地消を謳ったマルシェなど、出会いの楽しさやお得感のある催しがたくさんあります。今回ご紹介する他にも、不定期や旬にこだわったものもあります。みなさんの「御用達」や「推し」を見つけてください。
※日時は変更される場合があります。お出かけの際は、HP等でご確認ください。



毎月8日 お薬師さんの 手づくり市

日時: 8月・2月を除く
毎月8日
10~14時
場所: 陸奥国分寺薬師堂境内
主催: 薬師堂手づくり市実行委員会



わかばやし ふれあい朝市

日時: 4~12月
第2・第4土曜
6~8時
場所: 若林区役所南側駐車場
主催: わかばやしふれあい朝市実行委員会



毎月28日 新寺こみち市

日時: 毎月28日
10~14時
場所: 新寺小路緑道
主催: 新寺こみち市実行委員会



若林区の 市・マルシェ めぐり

河原町マルシェ

日時: 毎月第2日曜
(8月のみ第1日曜)
11~16時
場所: 河原町商店街通り、
ツインタワー公開空地、
みなてらす河原町
主催: 河原町商店街振興組合



河原町みなてら マルシェ

日時: 毎月第3金曜・土曜
11~16時
場所: みなてらす河原町2階
主催: 一般社団法人SC.FIELD



荒井なないろ マルシェ

日時: (原則) 毎月第2日曜
場所: アライデザイン
センター1F
主催: 一般社団法人荒井タウンマネジメント



随時開催!!

JRフルーツパーク
仙台あらはま
時間: 10~16時 ㊤火曜

アクアイグニス仙台
マルシェリアン
時間: 10~18時 ㊤不定休

★ せんだい農業
園芸センター
こちからも
電子チェック!

まちづくり 活動表彰

今年度受賞された方々を
ご紹介いたします。

南鍛冶町老人クラブ 宝寿会

荒町地区老連7団体の一つで、活動歴は平成6年設立以来30年以上。代表は米山護氏。仲間づくりをメインに、南鍛冶町公園の草取りや花壇整備を長年続け、今年度は高校生ボランティアの受け入れも実現。町内会や諸団体と共同で、地域を豊かにするための数々の社会活動にも取り組まれています。



地域夢つなぐ実行委員会 Wakka

女性防災リーダー等で組織された地域団体で、平成26年始動、活動歴は10年以上。代表は塚田昭美さん。小・中学校や児童館等で防災教室の講師を務めるなど、子どもたちがやがて『地域の力』になることを目指して活動し、実績をあげ、昨年実施の仙台防災未来フォーラムでもその成果を発表されました。



江刺 善之氏 (中倉共栄会)

中倉共栄会の防災リーダーとして活躍中。年10回の夜間防犯パトロールの中心としても20年以上継続して活動し、積極的に専門家を招いての講演の実施やワンちゃんパトロール、公園近くの自宅を子どもたちの駆け込み先にして守るなど、常に地域の安全・安心のために尽力されています。



清野 章三氏 (上荒井町内会)

長きにわたって町内会役員やクリーン仙台推進員を歴任され、退任後の現在も、クリーンメイトとして、自宅周辺のゴミ集積所や道路の美化活動、公園の除草や花壇の整備、夏祭り会場の下準備等に携わり、地域に貢献されています。骨身を惜しまず、要支援高齢者世帯の庭除草も行い、慕われることしきりです。



武者 幸子氏 (こすもす会代表・あらいこども食堂代表)

大震災の翌年に、被災地を合唱で盛り上げようと、区内社会学級の女性陣を中心に立ち上げた「こすもす会」の代表者。数々の復興支援の活動を重ね、現在は、合唱団として各種施設や地域の催し等でコンサート活動を継続中。平成29年に立ち上げた「あらいこども食堂」の代表者としても貢献されています。



若林区民ふるさとまつり



10月19日の「第37回若林区民ふるさとまつり」に今年もたくさんの皆さまにご来場いただき誠にありがとうございました。「元気にいこう、わかばやし!みて、ふれて、食べて、ワクワク体験しよう!」のとおり、会場全体を盛り上がり満ちた一日にすることができました。当イベントにご臨席くださいましたご来賓の皆さま、ご後援くださいました若林区内外の皆さま、若林区民全ての皆さまにこの場をお借りして心から感謝申し上げます。
若林区民ふるさとまつり実行委員長 工藤 克貴

おまつりの当日は、パステルで綿に色をつけてカラフルなおばけをつくる工作、サンドアートとハーバリウムを組み合わせてミニ荒浜をつくる体験、若林区に関連するクイズラリーを実施いたしました。想像以上の大盛況で、嬉しい悲鳴を上げるほどでした。数か月にわたる準備を、楽しく実

りある時間にできたのは、実行委員会の皆様はじめ多くの方のご支援のおかげだと感じています。ボランティアとしてだけでなく、企画班として挑戦できたことを心から良かったと思っています。

学生企画 学生ボランティア 大友 梨瑚

令和7年度

若林区まちづくり協議会 事業報告

若林区まちづくり協議会 総会

令和7年度総会は、5月9日に、せんだい農業園芸センター研修室で行われ、議事は満場異議なく承認されました。
当協議会は、様々な活動を通して区民相互の友好を深め、安心安全で明るく住みやすいまちを目指しています。今年度も、皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

若林区合唱のつどい2025



7月5日、「第32回若林区合唱のつどい2025」を開催しました。
およそ2年間の若林区文化センター改修中は他会場をお借りしていましたが、今回からホームグラウンドに戻り、小学生からベテラン合唱団まで、年齢性別を超えた17団体が歌声を披露しました。特別企画のチアリーディングや雀踊りも加わり、発表者も観客も楽しいひと時を過ごすことができました。

若林わくドキ!! まち歩き

若林区の魅力を知ってもらうため、3回のまち歩きを行いました。
4月 新寺花さんぽ
桜めぐりと和菓子づくり
7月 若林城から宮城刑務所へ
古城の今と昔
11月 史跡の息づかいの旅
～薬師堂編～
東北学院大学と東北福祉大学の学生メンバー4名が、企画段階から参画しました。



令和8年度 若林区まちづくり協議会の行事予定

- 4・5月 役員会・総会
- 7月 若林区合唱のつどい(第1土曜日)
- 7~翌3月 「ラジオはいらいん若林」放送
76.2MHz ラジオ3にて
第1~4土曜日の午前10時~
※インターネットで放送を聴くこともできます
(リスラジまたはラジオ3ホームページ)
- 8~11月 若林区スポ・レク・フェスタ
- 10月 若林区民ふるさとまつり
- 2月 若林区まちづくり交流会
- 3月 会報「はいらいん若林(vol.30)」発行

※詳しくは「市政だより」、「若林区ホームページ」等でご案内いたします。

<https://www.city.sendai.jp/waka-katsudo/wakabayashiku/machizukuri/kyogikai/index.html>



スポ・レク・フェスタ実行委員会



スポ・レク・フェスタ実行委員会は、9種目の大会を行いました。ふるさとまつりでは、リサイクルステーションを担い、ごみの分別・減量化に努めました。

ラジオはいらいん若林

7月から3月まで、幅広い年代の区民スタッフが18の番組を制作しました。今年度は、戦後80年に際し、仙台空襲経験者への聞き取りや、地域で活躍する人々への取材に、子ども記者・学生スタッフも積極的に参画することができました。第1・3土曜日は本放送、次週が再放送です。ぜひお聴きください。